

第IV部 金融のマクロ的側面	
第11章 資金循環と金融システム	
11.1 資金循環と資金循環統計	
11.1.1 資金循環の捉え方	
11.1.2 資金循環統計	
11.2 日本の資金循環の実態	
(1): 各経済部門の貸し借り	
11.2.1 家計部門の貸し借り	
11.2.2 企業部門の貸し借り	
11.2.3 政府部門の貸し借り	
11.3 日本の資金循環の実態	
(2): 部門間の貸し借り	
11.3.1 直近時点での貸し借り	
11.3.2 時系列的な変化	
11.3.3 金融と実体経済	
11.4 直接金融・間接金融と金融仲介	
11.4.1 日本の資金循環の構造	
11.4.2 国際比較と日本の特徴	
11.4.3 金融システムの特徴と問題	
練習問題	
参考文献	
第12章 金融政策と経済の実物面・金融面	
12.1 実物面・金融面のリンクと金融政策	
12.2 金融政策の全体像	
12.3 金融政策の目的と最終目標	
12.3.1 金融政策の目的	
12.3.2 金融政策の最終目標	
12.4 金融政策の手段と金融調節	
12.4.1 政策手段	
12.4.2 操作目標	
12.4.3 金融調節と操作目標のコントロール	
12.5 金融と実体経済: 金融政策の波及経路	
12.5.1 短期金融市場から金融市場全体へ	
12.5.2 金融市場と実体経済: 理論	
12.5.3 金融市場と実体経済: 実際	
12.6 非伝統的金融政策	
12.6.1 非伝統的金融政策の操作目標と最終目標	
12.6.2 非伝統的金融政策の政策手段	
12.6.3 非伝統的金融政策の懸念	
練習問題	
参考文献	
第13章 金融システムの問題と金融危機	
13.1 2つの金融危機	
13.1.1 日本の金融危機(1990年代後半)	
13.1.2 世界的金融危機(2000年代後半)	
13.2 金融機関の破綻	
13.2.1 金融機関の破綻とその問題	
13.2.2 破綻の原因(1): 金融機関のモラルハザード	

13.2.3 破綻の原因(2):満期のミスマッチと取り付け	14.1.5 政府の失敗と公的介入の問題
13.3 金融市場の機能不全	14.2 プルーデンス政策(1):事前的政策
13.3.1 市場の機能不全とその問題	14.2.1 参入・業務分野規制
13.3.2 機能不全の原因(1):情報不足と信用の喪失	14.2.2 健全経営規制と自己資本規制
13.3.3 機能不全の原因(2):ポジティブ・フィードバック・トレーディング	14.2.3 準備預金制度
13.4 資産価格バブル	14.2.4 金融機関のモニタリング(検査・考査・監督)
13.4.1 バブルとその問題	14.3 プルーデンス政策(2):事後的政策
13.4.2 バブルのメカニズム	14.3.1 救済合併と承継
*	14.3.2 預金保険制度
13.5 問題の波及・拡大と金融危機	14.3.3 その他の破綻処理制度
13.5.1 金融機関同士の波及	14.3.4 資本注入
13.5.2 金融市場間の波及	14.3.5 流動性供給
13.5.3 金融機関と金融市場の間の波及	14.3.6 セーフティネットとモラルハザード
13.5.4 システミックリスク、実体経済への影響と外部性	14.4 マクロプルーデンスと今後のプルーデンス政策
練習問題	14.4.1 マクロプルーデンスの考え方
参考文献	14.4.2 マクロプルーデンスの実際
第14章 金融制度と公的介入・プルーデンス政策	14.4.3 金融政策とマクロプルーデンス政策
14.1 金融制度と公的介入	練習問題
14.1.1 金融制度	参考文献
14.1.2 公的介入の三つの形	
14.1.3 公的介入の目的と分類	
14.1.4 公的介入の理論的根拠	